

県外派遣報告書

栃木県バスケットボール協会 審判部

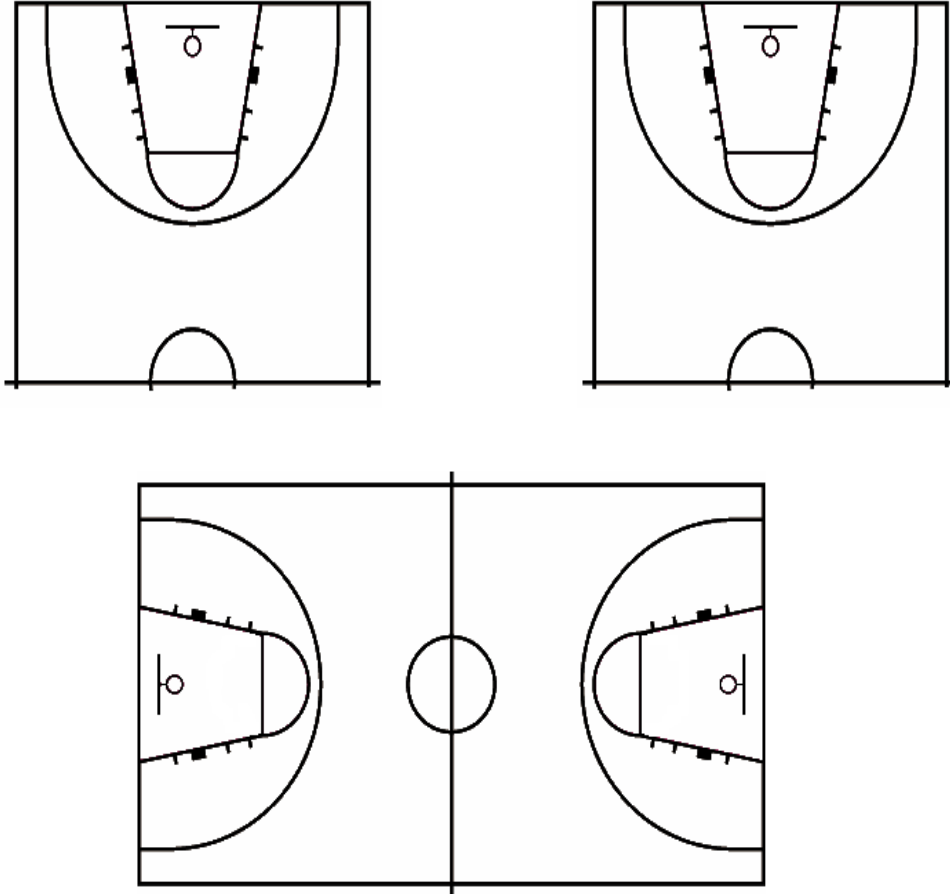
大会名	平成27年度関東高等学校女子バスケットボール大会	開催地	山梨県
報告者名 (所属連盟)	松本 祐大 (クラブ連)	派遣期間	平成 27年 6月 5日 ~ 6日
<p>(本部) 安西郷史氏 渡邊整氏 丸山淳氏 (日本協会講師) 阿部哲也氏 渡辺雄吉氏 (指名) 小坂井郁子氏 加藤誉樹氏 (茨城県) 川満有紀氏 二宮隆二氏 山崎律子氏 (群馬県) 星野由貴氏 小澤朋克氏 穂川苑子氏 (埼玉県) 竹澤友美氏 眞榮喜工氏 九里亜紀氏 (千葉県) 三好啓太氏 坂田愛氏 菅原理恵氏 (神奈川県) 大庭英裕氏 岩本涼子氏 井筒直子氏 (東京都) 石鍋美智代氏 斉藤貴嗣氏 伊佐牧子氏 (栃木県) 桑島汐織氏 山崎雅洋氏 松本祐大 (山梨県) 小澤勤氏 河野仁氏 佐田幸一氏 手塚清孝氏 荻野健氏 林正樹氏 古屋勝規氏 深澤雅俊氏 渡辺信也氏 古屋勝司氏 細田智彦氏 秋山知洋氏 日向美奈氏 菅野秀樹氏 中嶋清貴氏 深田昌宏氏 大木裕一氏 吉岡大地氏 山本大輝氏 天野賢介氏 田中翔馬氏 原誠氏 古本奈津子氏 柳本真二氏 武川佳代子氏</p>			
<p>【審判会議内容】 本大会の審判会議では、指名審判員の小坂井郁子氏、加藤誉樹氏のお話を伺いました。 テーマ: 基準を持ってコートに立っていますか? 講師: 小坂井郁子氏 内容: ○基準示し方 基準を示す・・・ファウルだけではなく、その時々で基準が変わってしまったら不信感・トラブルを引き起こしてしまう ゲームの最初の場面で・・・1Qであっても4Qであっても、そのプレーが最初に行われた時に判断をする(厳しくファウルにする、ではなくOKの判断も大切)→集中は切らせない・逃すときもあるが、逃しっぱなしにしない 基準を示すためには・・・ルールを知らなければ、適切に判断することができない→一貫性がない→公平性がない ○判定基準をしめすには ルールの理解 シリンダーの概念・・・それぞれに認められている権利がある・ノーマルバスケットボールポジション・リーガルガーディングポジション・距離やスピード・後方または平行に(ディフェンスは後方・平行に動いてもOK)・動いている選手にもシリンダーがある・1対1両方のシリンダーをみる→ファウルが一番ではない 空間を判定していく・・・接触だけを見ずに不当な手の使い方や体の寄せ方をいつからあったのかどちらから仕掛けたのかを見極める ○ルールの理解・位置取り 良い位置(次もみられる)プレイヤーが何をしているのかを見る・しようとしていることを知らないことが、判定に結びつかない原因にもなる・情報と判断材料(ルール・現状など)をもつ→良い位置にいれば、次の展開も見ることが出来る よって、見極めができ、良い判定につながる ○判定基準を持つ・・・判定基準をもっていれば、ゲームのスムーズな進行・信頼へつながる テーマ: ランクアップに際した意識と取り組み 講師: 加藤誉樹 ○コート内での取り組み 「ABCの教え」・・・A(当たり前のこと)B(バカみたいに・バカにしないで)C(ちゃんとやる) ...コートの器具を確認する・時計を止める合図・四原則・フリースロー時の立ち位置 等 ○コート外での取り組み 審判技術の向上・・・マニュアルの理解・映像を用いた様々なレフリーやケースの検証(自分の映像を見る時はFLATに) 語学力の向上・・・英語の勉強(英会話・単語を引く・選手とのコミュニケーションを英語でイメージ・シャドーウィング) ○レフリーを行う上で・・・周りの方の後押しや環境のおかげと言う事を忘れない・「感謝の気持ち」を持って取り組む事が大切である</p>			
<p>【感想・県内審判員へ伝えたいこと】 今回は高校の関東大会への初めての派遣となりました。AブロックAコート第一試合の割当ていただき、非常に良い緊張感を持ってゲームに臨む事が出来ました。背伸びせずに、よく見てしっかりと確認し、自分の出来る判定をする事を意識しましたが、よく見よう意識するがあまり、必要な時に判断が出来なかったケースがあったり、ボール中心になってしまう場面もあり、改めて自分の予測・位置取りの悪さ、判定基準の低さを痛感することとなりました。 審判ミーティングでは自分自身の課題でもある判定基準の内容をお聞きし、いかに判定基準が重要か、なぜ重要なのかを再認識する事が出来ました。 また、加藤氏の取組を伺い、意識の高さや日頃の努力は必ず良い方向に行くと感じ、多くの刺激をいただきました。今後より良い審判となれる様、判定基準をしっかりと持てる様に更に精進していきたいと思っております。 今大会に際し、派遣をいただき、渡邊審判長始め、県内の方々を中心に心より感謝致しております。また、今大会でご指導いただいた方、開催県の山梨県の皆様にも大変お世話になり、心より感謝いたします。</p>			

※この記録表は、各自で記入して審判委員長に提出して下さい。

割当日:平成 27年 6月 6日

審判員名	松本 祐大	相手審判	(主) 二宮 隆二 氏	所属	茨城県
カード	富士学苑(山梨)	対	横浜清風(神奈川)		

◇ ケース・ポジションについて



◇ ミーティングの内容

- ・よく見ようとするがあまりボール中心の時がある
- ・1対1の時はオフェンスとディフェンスの距離や位置を考えて位置取りを行うと良い
 - オフェンスとディフェンスの位置が近い時は近くに寄った方が面が変わった時に少ない動きで済む
- ・動くのは良いことだが、動いたが故にブラインドになり判定できない時がある
 - オフェンスとディフェンスの位置、カバーディフェンスの位置も視野に入れ、動くのかステイするのかを判断すると良い
- ・迷いが見えたのもっと自分らしく思い切り行っても良いのではないか
- ・スペースを見に行こうという意識や動きは非常に良い
 - だが、スペースを見ることだけが全てではない、大切なのは判定

《審判主任》加藤 誉樹 氏(東京都)

※この記録表は、各自で記入して審判委員長に提出して下さい。